

令和元年度札幌市国民健康保険会計決算（見込）

【歳入】

（単位：億円）

		令和元年度				平成30年度 決算(C)	前年比(B-C)
		当初予算	予算現額(A)	決算(B)	予決差(B-A)		
保険料	現年度分	311.7	311.7	319.2	7.5	316.6	2.6
	滞納繰越分	12.1	12.1	11.7	△ 0.4	12.8	△ 1.1
道支出金		1,320.4	1,329.9	1,332.9	3.0	1,327.1	5.7
一般会計繰入金		205.3	205.3	201.6	△ 3.7	201.0	0.6
その他		2.9	2.9	3.2	0.3	27.5	△ 24.3
歳入合計		1,852.5	1,862.0	1,868.5	6.5	1,885.1	△ 16.5

※その他は、延滞金、保険給付費返還金等

【歳出】

		令和元年度				平成30年度 決算(C)	前年比(B-C)
		当初予算	予算現額(A)	決算(B)	不用額(A-B)		
総務管理費		43.9	43.9	40.1	3.8	40.7	△ 0.6
療養給付費・療養費・ 高額療養費等		1,306.4	1,316.1	1,309.3	6.8	1,305.7	3.6
保健事業費		11.3	11.1	10.5	0.5	9.6	0.9
事業費納付金		486.9	486.9	486.9	0.0	493.8	△ 6.9
その他		4.0	4.0	0.9	3.1	26.9	△ 26.0
歳出合計		1,852.5	1,862.0	1,847.7	14.3	1,876.7	△ 29.0

※その他は、保険料還付金、国庫支出金等返還金等

※表中の数字は項目ごとに四捨五入しているため、総額が一致しない場合がある。

予算と決算のかい離理由（主なもの）（単位：億円）

【歳入】

保険料

収納率	}	現年度分	94.34%	（予算 92.67%）
		滞納繰越分	27.62%	（予算 27.83%）

- (1) 現年度分 収納率等の増 + 7.5
- (2) 滞納繰越分 収納率等の減 △ 0.4

【歳出】

療養給付費等

+ 6.8

- ・一人当たり医療費の増により、増額補正を行ったが、ある程度余裕を持たせた積算をした結果、最終的に予算に不用が生じた。
- ・被保険者数の減少による療養給付費の減

令和2年度の基金残高見込みについて

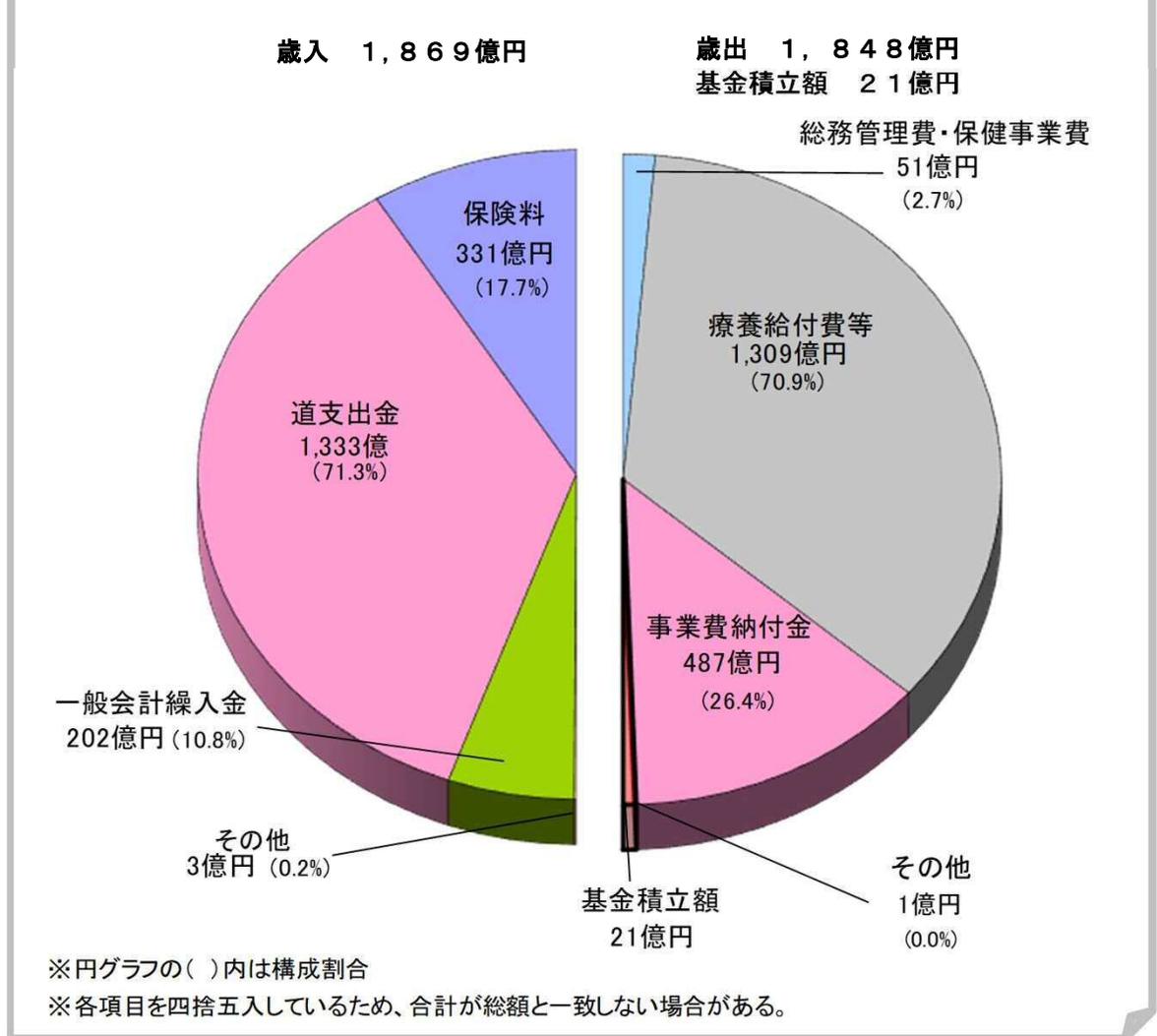
- 令和元年度の決算黒字は20.8億円。ただし、この黒字には、道庁が多めに見積もり配分した交付金6.4億円を含んでおり、これは令和2年度中に返還しなければならないため、純粋な黒字は14.4億円だったといえる。
- また、令和元年度第2回運協でお諮りしたとおり、北海道財政安定化基金への拠出金等として令和2年度中に3.2億円を取り崩す。
- 結果として、この返還及び取崩し後の基金残高（貯金）は、39.4億円となる見込み。

国民健康保険支払準備基金額の推移

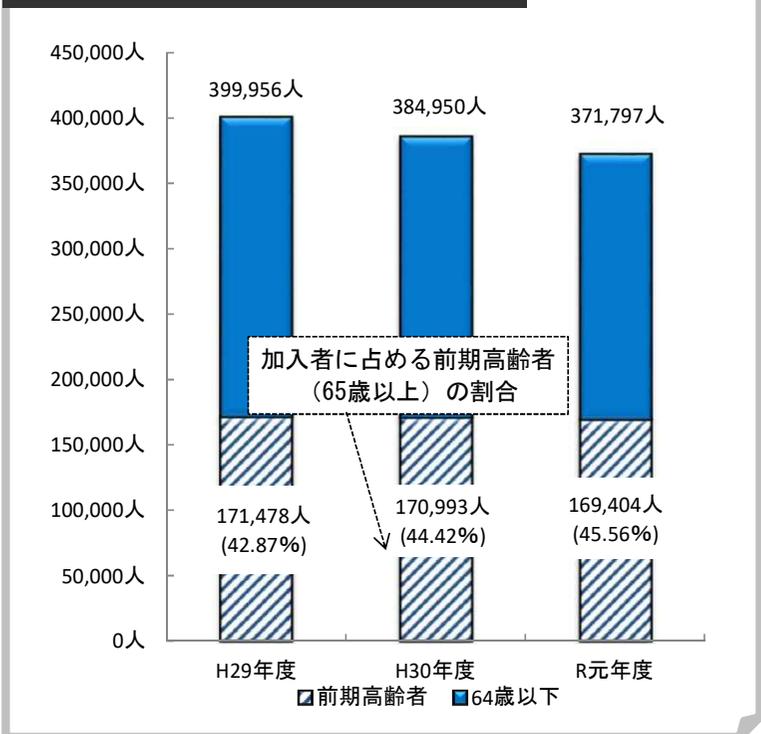
令和元年度期首残額	28.2
令和元年度中取崩額	0
令和元年度期末積立額	20.8
令和元年度期末残額	49.0

▶決算状況①

○令和元年度国民健康保険会計決算の概要



○被保険者数の推移



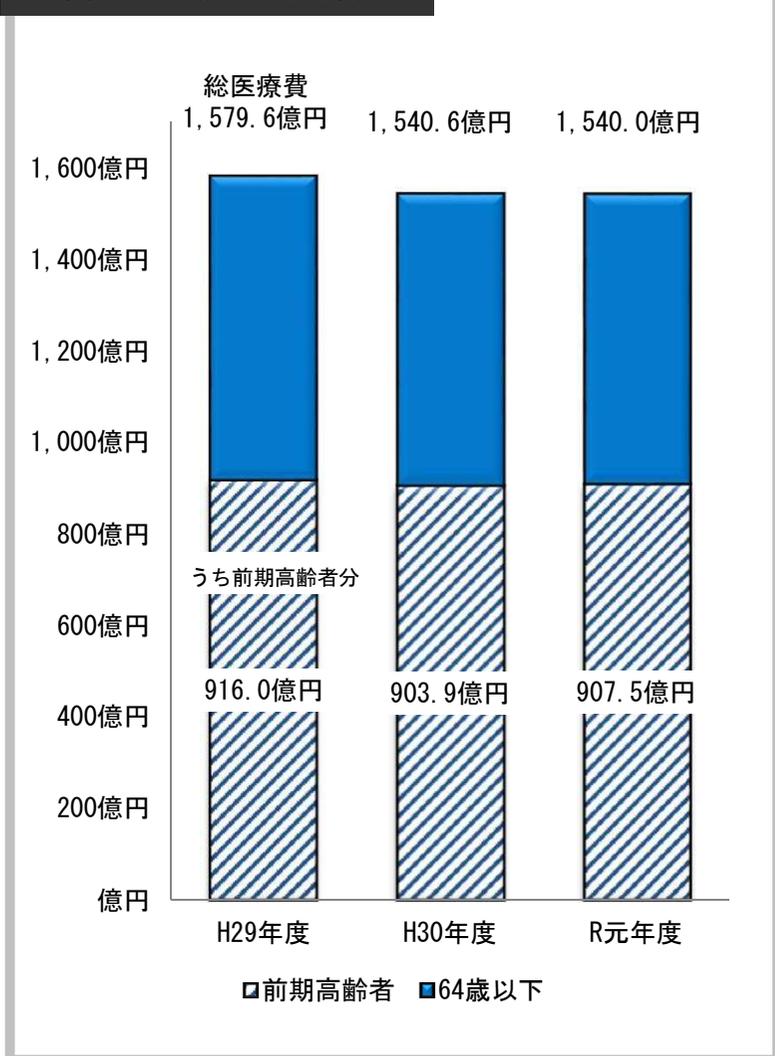
	H29年度	H30年度	R年度
被保険者数	399,956人	384,950人	371,797人
前期高齢者	171,478人	170,993人	169,404人
(全体に占める割合)	(42.87%)	(44.42%)	(45.56%)
世帯数	273,835世帯	266,735世帯	260,703世帯

(被保険者数・世帯数は3月～2月平均)

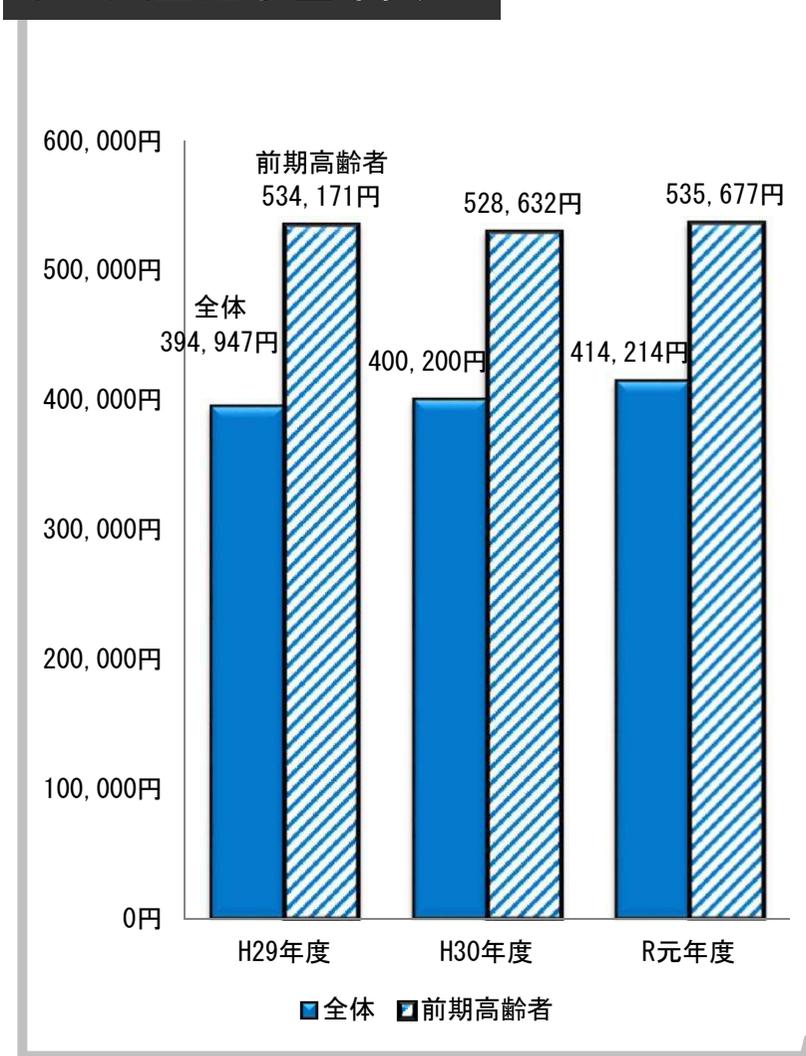
- 札幌市の人口である約197万人のうち、約20%が国保に加入している。
- 前期高齢者 (65歳～74歳) の割合は増加し、高齢化が進んでいる。
- 被保険者数は、後期高齢者医療制度に毎年度1万6千人程度の異動があるため減少している。

▶決算状況②

○総医療費の推移



○一人当たり医療費



札幌市国民健康保険事業の重点取組（令和元年度決算）

1. 医療費適正化事業・保健事業

- ①「レセプト二次点検」の実施
 - ・財政効果額(再審査請求による減額)：18,083枚、53,265千円
- ②「ジェネリック医薬品差額通知」の送付
 - ・ジェネリック数量シェア(調剤分)：H31年3月 78.6% ⇒ R2年3月 81.2%
 - ・通知送付：10月 2,687名、3月 2,417名、10月送付者の削減実績 370千円/月
- ③第三者行為求償
 - ・求償件数：266件(交通事故235件、交通事故以外31件)
 - ・求償額：153,970千円
- ④医療費通知の送付
 - ・年1回送付(R2年3月送付：平成31年1月診療分～令和元年12月診療分)
- ⑤特定健康診査・特定保健指導の実施

★特定健康診査受診率向上対策

・特定健診受診者数(速報値) (単位:人)

	H30年度	R元年度	対前年度
受診者数	64,827	57,757	▲ 7,070

・未受診者への受診勧奨(DM、30年度からA Iを活用) (単位:人)

	H30年度	R元年度	対前年度
DM送付数	153,882	148,034	▲ 5,848
DM反応受診者数	16,124	15,885	▲ 239
反応率	10.5%	10.7%	+0.2%

・LINEのチャットボット機能を利用した医療機関検索

★特定保健指導

(単位:人)

	H30年度	R元年度	対前年度
対象者数	7,176	6,797	▲ 379
終了者数	587	※ 504	▲ 83

※令和元年度特定健診受診者に対する令和2年6月までの特定保健指導初回面接実施数

★生活習慣病重症化予防事業の実施

- ・医療機関未受診者への受診勧奨：717人に対して、文書・電話・訪問を実施
- ・元気アップ応援事業(主治医と連携した保健指導)：希望者39人に対して実施

2. 保険料収納対策

<重点項目>

- 滞納の未然防止
- 年度内完納の徹底(現年度)
- 滞納整理の徹底(滞納分)

① 収納率の状況 (単位:%、ポイント)

	H30年度	R元年度	対前年度
現年度 一般分	94.45	94.33	▲ 0.12
現年度 全体分	94.47	94.34	▲ 0.13
滞納繰越分	25.29	27.62	+2.33

② 収入未済の状況 (単位:千円)

	H30年度	R元年度	対前年度
現年度・滞納繰越計	4,594,503	4,109,137	▲ 485,366

③ 保険証の交付状況 (単位:世帯)

	H30年度	R元年度	対前年度
滞納世帯数	27,068	26,736	▲ 332
短期証交付世帯数	9,739	7,067	▲ 2,672
資格証明書交付世帯数	5,269	3,771	▲ 1,498

④ 口座振替加入率 (単位:%、ポイント)

	H30年度	R元年度	対前年度
口座振替加入率	51.22	52.08	+0.86

⑤ 滞納処分等の状況 (単位:件、千円)

	H30年度	R元年度	対前年度
滞納処分件数	2,560	3,194	+634
滞納処分金額	601,861	670,713	+68,852